

2 年次

学 期	月	学習のアドバイス
前 期	4	●入試を意識した学習スタイルを確立しよう ・最初が肝心。4 点固定を再確認し、予習でしっかりと考える学習を組み込んだ学習スタイル（＝応用力につながる）を構築することが、その後の学習の質アップにつながります。 ●学部学科の研究を深めよう ・大学ごとの学部学科の特色、名称だけではわかりにくい学部学科など、中身・出口をしっかりと見きわめることが大切です。テーマ研究を利用して自分の力で調べてみよう。
	5	●定期考査への取り組みが今後の学習を決めます ・1 年次生での取り組みを見直して計画性と実行力を高めることが、成績に直結します。 ●定期考査は、授業内容を身につけるためのテストであり、入試に直結しています ・定期考査対策がそのまま入試対策になることを再認識し、目的意識を持って学習に取り組もう。 ・定期考査の復習こそが、具体的な基礎固めの学習になります。
	6	●授業に集中して、部活動・趣味と勉強を両立させよう ・授業に集中することが最も効率的な学習方法です。そのためには英教国では予習が必要であり、地歴や理科では前時の授業の内容についてノートやプリントを読み返して理解、知識の整理をしておくことが必要です。 ●効果的な学習には「理解→定着」のプロセスが大切です ・「理解すること」を徹底的にやろう。「なぜ、そうなるのか？」という疑問に妥協せずに取り組むことが大切です。「概念の理解＝定着」の積み重ねで後々の学習をさらにスムーズにします。
	7	●高 2 夏休みが、本当の受験の天王山です ・高 2 の夏休みは、高校 3 年間の折り返し地点です。行きたい大学に合格できた人の入試スタートは、ほとんどの人が高 2 後半です。オープンキャンパスや体験的活動に参加して自分を鼓舞しよう。 ・高 2 後半のスムーズなスタートを左右し、進路選択の幅を広げられるのが高 2 の夏休みです。 ●高 2 夏休みは、苦手克服の最大のチャンスです ・高校の後半戦に向けた弱点克服と基礎固めが、高 2 夏休みの最大の課題です。
	8	●入試は、得意科目勝負となります ・大学の学部では専門分野を学び、研究します。入試では、学部の目的、専門分野の特性に合わせた入試科目が設定されます。傾斜配点などもあり、得意科目をつくることが有利です。 ●5（6）教科 7 科目必須入試に対応するために 5 教科型学習にシフトしよう ・多くの国公立大学は共通テストで 5 教科 7 科目が課されます。夏休み明けからは実力テストや模試も 5 教科型の受験となります。この夏で学習計画も 5 教科型に転換して、よい夏休み明けのスタートを切りましょう。
	9	●高校後半戦突入→入試への早期スタートをしよう ・新学力観、得意勝負型入試など「3 年になってから」では準備が間に合いません。入試の時期はみんな同じ。早くスタートすればただで進路選択の幅が広がります。 ○9 月～冬休み・・・・・・合格するため、何を具体的にやったらいいかを見きわめる試行錯誤の期間 ○1 月～夏休み・・・・・・入試基礎力を完成させる期間 ○高 3 の後期・・・・・・入試実践力をつける期間 ○冬休み～・・・・・・実践力を完成させる直前期
後 期	10	●定期考査に万全の準備をして臨もう ・受験を明確に意識して学習を開始した後の最初の定期考査です。スキマ時間を活用するなど、意欲的に学習に取り組む、上昇気流に乗れば、今後の実力テスト・校外模試に連動し、入試に向けた後半戦の好スタートになります。 ●学習時間のアップに挑戦 ・学習時間の絶対量を増やす時期です。「予習→授業→復習」の基本サイクルを再構築し、授業をベースとして、理科や地歴公民の学習時間を積み上げる学習計画を立てて実践しよう。
	11	●実力テスト・校外模試を効果的に利用しよう ・自分の志望校群合格に必要な学力に対しての自分の位置を確認できるように、大学研究、学力向上の両面で準備を進めよう。初めての理科・地歴公民のテストの結果をもとに学習計画を練り直し、復習にも努めよう。「実力テスト・校外模試で発見した弱点の克服＝受験学力向上」となります。 ●入試科目は、可能性のある最も多い科目数を想定して準備しよう ・大学・学部・学科リサーチで入試科目を調べます。国公立の個別試験、私立入試で必要となる科目の学習は、特に意識して取り組もう。
	12	●もう一度、自分のやりたいことを考えよう ・大学・学部・学科リサーチに取り組み、各種講演会のレポートや、進路情報誌などを熟読するなどして、自分の希望進路を夢にとどめることなく、確固たる志望へと高めていこう。 ・学部・学科の選択理由、志望大を明らかにすれば、学習への具体的な意欲へとつながります。 ・志望大学の入試に必要な科目、要求学力などを明確にすることで、努力すべき方向性が見えてきます。
	1	●共通テストを体感してみよう ・みなさんも受験まで残り 1 年となりました。共通テストは約 7 0 % が 2 年生までの範囲から出題されます。共通テストは新聞や Web サイトに掲載されます。実際に解いて入試を体感してみよう。 ●実力テスト・校外模試をプレ入試として取り組もう ・共通テストが終わったら、先輩たちは私大・2 次試験に向かい本格的な受験シーズンに突入します。みなさんも実力テスト・校外模試が続きます。このテストをプレ入試と想定し、集中力・緊張感を持って取り組んでみよう。
	2	●受験勉強をスタートさせよう ・高 2 の冬休み明けは、「高 3 の 0 学期」です。受験生としての意識を持ち、主体的に学習方法を改善していこう。 ・入試までの流れを意識して、1 年間を逆算して今すべきことを考えてみよう。 ・苦手を放置するとますます差が開きます。苦手克服の努力は続けなければなりません。教科担任の先生に相談するなど、自分なりの学習方法を確立し、週末などにこまめに取り組んでいこう。
	3	●自分にとっての最優先課題を明らかにすることからスタートしよう ・やるべきことが具体化しないと、やる気にはなりません。自分にとっての最優先科目、そして、その科目の最優先ポイントを明らかにしよう。 ●レベルアップした学習習慣をつけよう ・受験に向けてやるべきことは多いが、春休みにできることは多くありません。限られた時間でやるべきことを明確にして、計画を立て、それを確実に実行すること。うまくいかなければ計画を見直し、再度挑戦すること。「自分のための」能動的な学習習慣を身につけることが、この春休みの最大のテーマです。